

WBAアセスメント 初の支援事例

ANA ホールディングス

日本最大の航空会社、全日本空輸（ANA）を中心とする企業グループ

307
機

101
空港

42,196
連結従業員数

- 2030年までの中間目標と2050年までにカーボンニュートラルを達成することを2021年に目標に掲げており、国際的な企業の脱炭素化のための情報開示フレームワーク、特にCDPとTCFDの開示に取り組んでいます

Codoの支援

Codoは、日本初のACTライセンスコンサルタントとして、2022年夏、ワールドベンチマーキングアライアンス（WBA）によるANAホールディングスのアセスメントの全過程をサポートしました。支援した項目は：



手法の理解



提供するべき最も関連性の高いデータを特定



ソースデータを日本語で、報告フレームワークを英語で明文化



専門家のフィードバックによる評価結果の把握



“CODO Advisory社はWBAの日本で初のACTライセンスコンサルとして、日本国内のACT展開のサポートを行っています。WBAからのベンチマーク評価を受ける日本企業に対して、グローバルレベルでの気候変動対策にかかわる取り組みの推進と情報開示レベルの向上につながるサポートを期待しています。”

－ ANAホールディングス、上席執行役員、グループCSO、サステナビリティ推進部長、宮田千夏子様から